

# 自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って  
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎526552 有線⑤8963

## 提言報告書を作成

第12回の住民懇話会では、7つの重点項目のこれまでの議論を踏まえ、提言を盛り込んだ報告書としてまとめていく方向性について、話し合われました。

まず、寺澤座長から報告書の方向性について提案され、懇話会で出された意見の一つひとつが、活かされた提言となるよう、委員自らの手で作り上げていくことを決定されました。

特に重点項目のとりまとめについては、再度7つの分科会に分かれて



議論し、提言を盛り込んだ報告書を作成される事になりました。  
懇話会の助言者である、滋賀大学経済学部助教授の宗野隆俊むねの たかとしさんから

## 第11回住民懇話会の議論から

### 《持続可能なまちづくりのための 行財政運営》

重点項目、7つ目の議論では、

- \* 厳しい行財政運営の中で、住民一人ひとりがまちづくりの主体であることを自覚し、自分たちの町をどうしていくのかを考え行動する。
- \* 行政は、徹底した情報の公開をしていく。
- \* 地域の力を高める。
- \* これからの行政サービスのあり方を見直す。
- \* 知恵と工夫による財源の確保のアイデアなどについて意見が出されました。



は、「ここで出された多様な意見や提案は、懇話会が考える今後の自律のあり方として、おのずと浮上してくるのではないか」と助言者の立場から見た感想や、重点項目の視点についての整理がされました。

## 自律のまちづくり計画作成

町ではこの報告書を受けて、「自律のまちづくり計画」素案を作成し、住民懇話会や町議会での議論をいただきます。

今後は、住民の皆さんとの議論により「自律のまちづくり計画」を完成させていきます。

## 先進地に学ぶ

(長野県 原村・小布施町)

7月、住民懇話会委員の皆さんは、自律のまちづくりの先進地として、長野県原村と小布施町を視察研修し、今日までの議論や課題の確認をしました。

原村では、行政からむらづくりの説明を受けました。人材育成をむらづくりの基本とし、村の予算で「人づくり特別枠」を設けておられます。小さなコミュニティの特性「まとまりやすさ」による助け合い、集団の行動力、集落の融合性などを活用して、「自ら考え、自ら行動する事業」に対しては支援を行い、住民の皆さんが主役となる「小さくても元気に輝く村」を目指されています。

小布施町では、民間(住民側)から説明をいただきました。栗と葛飾北斎で知られる小布施は、「花を活かしたまちづくり」を住民の皆さんで進められ、その一つが一般家庭・商店・学校・寺院などが自慢の庭を一般に公開する「オーブンガーデン」です。

住民の皆さんが生活を楽しみ、環境を良くする事が、来訪者をもてなすことにつながっている。その来訪者からの評価が自信になったことが大きく、地域経済の発展にもつながっています。

どちらの自治体も住民の皆さんの様々な取組みを情報支援や人的なサポートで協働のまちづくりを進めておられ、当町のまちづくりの参考になることが、たくさんありました。